



○認定こども園運動会の様子

認定こども園運動会の詳細は、P8「まちの話題」をご覧ください。



# 学校づくり事業

## 〈中頓別学園基本構想について〉



写真：3月11～13日開催「あったらいい展」の様子

**親子で語って学ぶ生き方ドリル**

令和3年8月から9月にかけて、講座「親子で語って学ぶ生き方ドリル」と題して、全3回の町民ワークショップを開催しました。

第1回は、相座教育長とstudio1代表の山崎亮さんとの対談を通じて、中頓別町の教育について考えました。相座教育長からは、「大人になったとき、中頓別町で育ち、暮らした経験が心の中にあることが大事です。豊かな自然の中で思いっきり遊ぶことで人間としての土台を作る教育を実現していきたい

中頓別町では、令和3年度より、令和8年度の中頓別学園開校を目指し、中学校校舎の建て替えを含め、認定こども園、小学校、中学校が連携した新しい学校づくりに向けた取り組みを進めていきます。

今月号では、令和3年度に話し合ったことやこれからのスケジュールなどについて紹介していきます。

いと考えている。」と話されました。

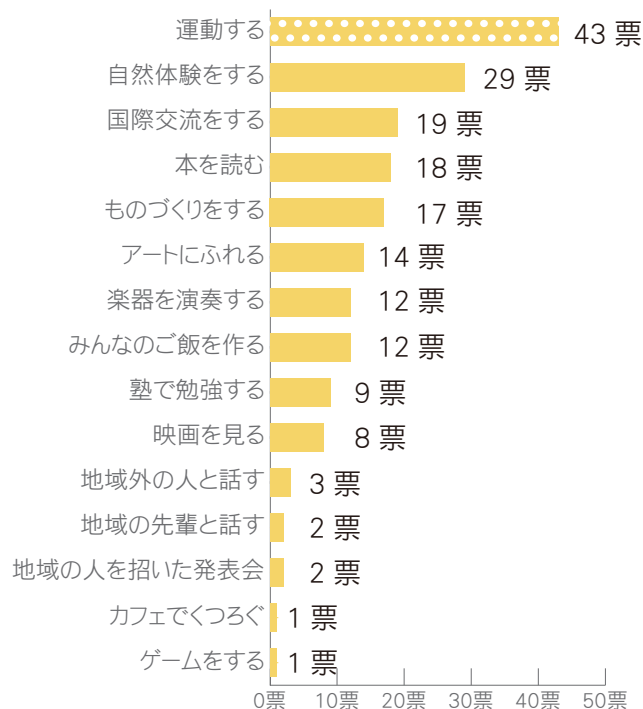
第2回は、「中頓別にあったらいい学びの場は?」と題し、ワークショップを行いました。3歳から15歳までの子ども達がひとつの校舎で学ぶ、長野県「軽井沢風越学園」の取り組みを参照しながら、中頓別町にあったらいい学びの場や大切にしたいことについて話し合いました。また、学びの楽しさを経験できる「楽しく学ぶ」など、学び続けることが楽しいと思う町民が増えることがまちづくりにつながるとうわかりました。

第3回は、東京大学大学院教育学研究科 牧野篤教授を招き、学力や学ぶ力について、参加者と考え、これから求められる地域での教育などについて話し合うかがいきました。牧野教授からは、「人生100年時代とも言われているこれからの教育には、子ども達が主体的に学びながら自分で自分の人生を作っていくように生涯学び続けるための基礎を作ることが大切である。」ことなどが話されました。

## 保護者アンケートの結果

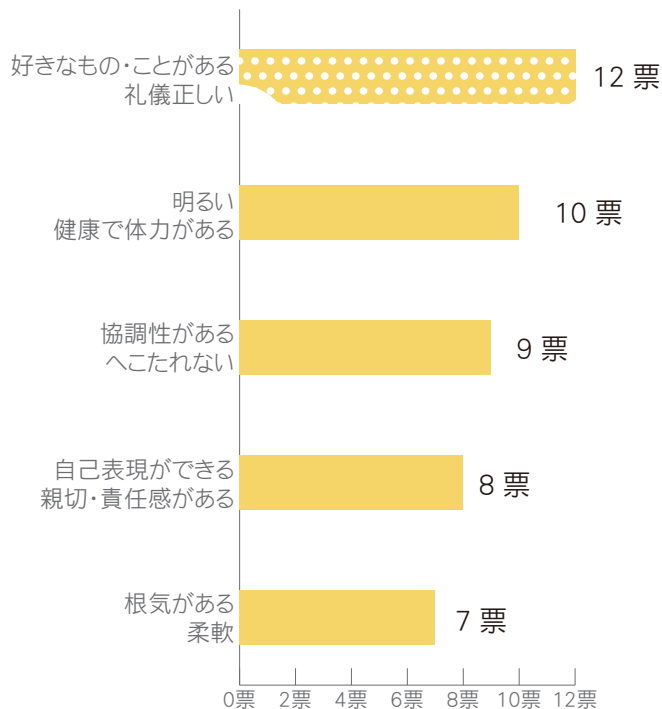
### 質問

子どもたちが放課後や休日にできたら  
良い活動は？



### 質問

大人になるまでに子どもたちに身に  
つけてもらいたい力は？



### 保護者アンケートの実施

令和4年2月には、認定こども園から中学生のお子さんの保護者を対象にアンケートも実施しています。「新しい学校づくりに関するアイデア」などについて、うかがっています。このアイデアの中には、得意な分野を深く学ぶ時間があると良いや異年齢の交流ができると良い、地域性も考慮し、地域に開かれた学校を目指したい、明るく、温度調整が優れ、木の温もりを感じられると良いなど教育内容や目指す学校像、児童生徒の交流、設備についてなどいろいろなアイデアが出ていました。

### あったらいい展

令和4年3月には、新しい学校づくりについてのパネル展示とこんな学校があったらいいなと思うアイデアを聞く「あったらいい展」が開催されています。子ども達の作品や保護者アンケートなどを展示し、新しい学校にあったらいいなと思うアイデアを募集していました。その

他に、出張なかつん学習塾では、相座教育長が書道を教えたり、ダリン先生が英語を教えたり、大島園長が算数パズルをするなどしていました。なかつんコレクシヨンの授賞式では、子ども達が制作した、こんな学校があったらいいなというアイデアを発表し合うなど多数の町民が参加し、イメージを膨らませました。

### 中頓別学園基本構想

令和4年4月、このように町民の皆さんとのワークショップを通じて、様々なアイデアを取り入れ、基本構想が出来上がりました。新しい学校づくりでは、子どもは家庭だけでなく、学校だけでなく、地域全体で育てるという基本的な考え方に立ち、地域の方達も利用しやすく関わり合いを持てる学校を目指します。具体的には、中頓別小学校と中学校が9年間の義務教育学校となり、「まちの人とともにつくる 幼小中一貫した教育の実現に向けて」をコンセプトに「まちの人とつくる学校」、「自然を

まちの人とともにつくる 中頓別学園 義務教育学校 中頓別学園設置事業 幼小中一貫した教育の実現に向けて



活かした地域に学ぶ教育、「グローバル化を見据えた英語教育の充実」の3つを柱とし、主体的対話的で深い学びを目指していきます。(上図参照)

### 整備方針や建設候補地

新しい学校整備にあたり、課題もあります。それは、建設候補地についてです。現在、中頓別中学校は、老朽化に伴う改築が喫緊の課題となっており、中学校校舎の整備の建設候補地が2箇所あります。

1つ目の候補地として、小学校の敷地が挙げられます。この候補地のメリットは、中学校と認定こども園、小学校との距離が近く、義務教育学校として機能しやすい点や町民センターなど既存の建物を改修し、図書館など学校に併設したコミュニティ施設を整備できる点にあります。反対に、検討事項としては、兵知安川の浸水被害を想定し、子ども達の安全な学びの場を確保するため、2階への避難経路を作るなどの対策が必要となります。

ます。

2つ目の候補地としては、中学校の敷地が挙げられます。メリットは、敷地にゆとりがあることや小学校などの施設が周りに無いため、工事をスムーズに進められる点にあります。一方で、検討事項として、認定こども園や小学校と離れているため、一貫教育がしにくい点や図書館などのコミュニティ施設をどこに整備するかなどが考えられます。近年、普及し始めた、オンラインでの交流や中学校校舎と別にコミュニティ施設を市街地に整備するなどの必要になります。

そこで、どちらの候補地が最適であるのかを子ども主体に考え、小学校の敷地としました。これは、施設一体型の義務教育学校が実現できることや認定こども園との距離が近く交流や連携しやすいこと、町民センターなどの既存の建物を改修して、図書館など学校に併設したコミュニティ施設を整備できることから最適であると考えました。

## 中頓別町市街地の教育関連施設



### 学校施設整備の方向性について

新しい学校整備に当たり、次のことを基本とし、基本計画を策定していきます。①「快適に学べる教育環境」、②「いろいろな人と交流できる学校」、③「地域に開かれ、地域の核となる学校」の3点です。

①「快適に学べる教育環境」では、教室の温度が快適となるように環境整備を行うことや屋内運動施設の充実、ICTを活用した授業では、動画などを積極的に活用できるネットワークの整備を行います。

②「いろいろな人と交流できる学校」では、学習活動や交流などに活用できる多目的スペースの確保や少人数教室、習熟度別教室を普通教室に隣接させ、異学年交流などを推進します。困り感を持っている子どもへの支援体制も整えます。

③「地域に開かれ、地域の核となる学校」では、新しい学校施設と町民センターや町民体育館をつなぐ渡り廊下の整備や学校図書室と地域図書館の一体化、

地域住民への開放スペースの整備を行います。さらに、体育館やグラウンドを地域住民へ開放し、児童生徒や住民との交流を促したり、防災拠点としての施設整備なども考えています。

### 今後のスケジュールについて

令和8年度の開校を目指し、令和4年4月に策定された基本構想をもとにし、基本計画の策定を行っていく予定です。これと並行し、文部科学省の委託事業である「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」のモデル事業として、地域住民や教職員とのワークショップを実施し、さらに、具体的なイメージを膨らませ、令和4年10月ごろを目標に設計業者の選定を行います。設計業者が決まった際には、設計業者と地域住民で施設について、一緒に考えられるように全5回のワークショップを行うことも予定しています。この取り組みを通じ、令和5年度には、実施設計を行い、令和6年度中に着工となる予定です。



## 歯の大切さを考える 歯磨き講座の開催

5月27日、認定こども園で歯磨き講座が行われました。



講師として、歯科衛生士の城山裕美江さんをお招きし、乳幼児の虫歯の原因や虫歯になりやすい食品の話をしていただきました。また、指しゃぶりについて、指しゃぶりが長引いてしまふとあごの骨が動き、歯並びに影響を与えるなどお話をいただきました。

## 自衛官希望者の橋渡し 相談員委嘱状交付式

5月27日、中頓別町役場で自衛官募集相談員の委嘱状交付式が行われました。



今回相談員に委嘱されたのは桜田守さんで、自衛隊旭川地方協力本部長 高田博文さんから委嘱状の交付を受けました。任期は2年です。  
自衛官募集相談員は、自衛官志願者に関する情報提供や募集のため、広報活動を行います。

## 記録に挑戦！ 町民体力テスト

5月28日、中頓別町立中頓別小学校体育館で、スポーツ少年団結団式と町民体力テストが開催されました。



およそ20人が参加し、関節の柔軟や体幹のチェックを行った後、体力テストでは、立ち幅跳びやボール投げなど全5種目を行い記録を測りました。体力テストは春と秋に行われ、成長の様子を確認します。

## 雨にも負けず パークゴルフ大会開催

5月29日、寿公園パークゴルフ場で第21回町長杯争奪パークゴルフ大会が開催されました。



当日は雨が降っていましたが、大人から子どもまで23人の参加がありました。それぞれ、日々の練習の成果を発揮していました。雨の中だったので芝の状況が悪く、参加者からは、いつも通りボールを飛ばすことが難しいと話されました。



## 元気いっぱい駆け回る 神崎町営牧場の入牧

6月2日、神崎町営牧場で入牧が行われました。町内の酪農家から預けられた149頭の牛たちは、東宗谷農業協同組合の職員や酪農家の方々に誘導され、無事に牧場の中に放牧されました。

入牧の際には、職員から牛体測定が行われるなどして、これから大切に飼育されていきます。



## 働くことを考える 中頓別中学校職場体験

6月2日、中頓別中学校2年生の生徒たちを対象に、町内6事業所にて、職場体験学習が行われました。

認定こども園には、五十嵐源仁くんが訪れていました。認定こども園の園児たちと一緒に運動会でのバレーの練習を行ったり、園庭で鬼ごっこなどを1日を通じて、保育の現場を体験していました。



## 収穫が楽しみ 野菜の種まきを実施

6月2日、認定こども園で、ニンジンやタマネギ、枝マメ、トウモロコシの種まき、ジャガイモの種イモ植えを行いました。子ども達は、楽しそうに種をまいたり、種イモを植えていました。

最後には、水やりを行い、美味しく収穫ができることを願いながら作業を行っています。



## 鍾乳洞を探検 森のこども園事業

6月7日、認定こども園で森のこども園事業が行われました。

今回は、5歳児クラスの園児たちが中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園で虫を採ったり、鍾乳洞の中を探検したりしました。道中には、クリンソウも咲いており、嬉しそうに歩きながら探検しました。探検後、園児たちは、持ってきた水筒で乾杯し、はじける笑顔を見せました。





## 家族写真を綺麗に撮る 子育て講座開催

6月8日、中頓別町寿公園で、子育て講座として、「わが子とときめき写真術P A R T II」が開催されました。

猿払村在住のフォトグラファーである森原志織さんを講師として招き、4組の親子が参加しました。写真を撮る際、逆光での撮影が良いことや近付き過ぎずないこと、日中は木陰で撮るなどのコツを教わりました。



## 心をひとつに 中頓別中学校運動会

6月12日、中頓別中学校のグラウンドで第76回運動会が行われました。

当日は、24人の生徒が白組・青組に分かれ、100m走や長縄跳び、綱引き、タイヤ転がしリレー、障害物リレー、玉入れ、全校よさこいなどが行われました。日々の練習の成果が発揮されていました。今年は、青組が総合優勝していました。



## ロングトレイルの実現可能性に向けて 天北線軌道跡を活用したロングトレイルシンポジウム

6月15日、中頓別町役場で、「天北線軌道跡を活用したロングトレイルの実現可能性に向けて」と題して、シンポジウムが開催されました。

北海道大学観光学高等研究センター 木村宏教授やNPO法人ウォークラポ札幌 奥田萌理事が講師として招かれました。

ロングトレイルの潮流や国内におけるロングトレイルの取り

組みについて、さっぽろラウンドウォークの取り組みについてなど講演されました。

シンポジウムでは、これから、地域の方にロングトレイルの取り組みに理解賛同してくれる方が必要であるなどと話されました。前日の14日には、実際に天北線の軌道跡地を歩き、どのような景色が見えるかなど調査も行いました。

